

カテゴリ	項番	意見・質問まとめ
管渠整備	1	下水道管の耐震化率はどれくらいか。 →約24%です。
	2	芦屋処理区の目標は10年に1度の確率で降る雨を排除することとなっているが、南芦屋浜処理区はどのような目標か。 →南芦屋浜処理区については整備を完了しているので、その旨追記しました。
	3	合流式下水道の分流化について、今までの実績や今後の予定について教えてほしい。 →上宮川町、公光町、大柵町、茶屋之町の各一部で実施しています。今後の予定としては岩園町の一部を検討しているが、実施予定には至っていません。今後の分流化に備えて宅内分流化を進めています。
処理場の運営	4	経営戦略P2で、下水処理場と雨水ポンプ場の運転管理を民間業者に委託しているとあるが遠隔監視、集中監視を実施しているのか。今後IoT技術を活用した業務の改善や効率化を目指す考えはあるのか。 →運転管理の委託先である民間業者が芦屋下水処理場の監視室で南芦屋浜下水処理場の遠隔監視を行っています。雨水ポンプ場については芦屋下水処理場の監視室で監視カメラによるWeb監視を行っています。
	5	南芦屋浜下水処理場はどのような形態で委託しているのか。 →職員は常駐していませんが、市が運営しています。包括に近い業務委託です。
	6	経営戦略の民間活用の状況にPFI事業などは該当なしとなっているが、考えを聞きたい。 →芦屋下水処理場は建設して50年近くになるが、延命化でさらに25年もたせる予定です。建て替えの時期になれば、民間活用や広域化共同化などを比較検討していきたいと考えています。
エネルギー	7	エネルギー利用について、他自治体はバイナリー発電を行っている事例がありますが、検討する考えはあるのか。 →芦屋市は汚泥の処理を兵庫県に委託しており、汚泥の焼却を行っていないため、バイナリー発電は計画しておりません。
	8	トップランナー製品を採用していると思うが、年間どの程度電力量が削減できているのか。 →トップランナー製品を採用していますが、各機器による電力削減量の把握は行っておりません。しかし、省エネ機器への更新のみでなく、運転操作の工夫等により電力量は5年間で15%程度削減できています。
構成	9	水道ビジョンと下水道ビジョンの構成は似たようなものになっていた方がわかりやすいと思う。 →両方の良いところをすり合わせる形で調整しました。
組織体制	10	職員体制については記載しないのか。人事的な記載も必要では。 →下水道事業は一部適用なので人事権はもっていないが、組織体制については記載しました。
	11	組織体制の課題はないのか。 →技術の継承が課題となっているので、その旨記載しました。
SDGs	12	基本方針と関連させてSDGsの実現にどのように貢献するのか。SDGsの項目のどの部分が下水道事業で貢献しようとしているのか、書かれている方がわかりやすい。 →記載を追加しました。
理念	13	下水道ビジョンに経営理念があったほうがいい。 →記載しました。

審議会まとめ(下水道事業)

カテゴリ	項番	意見・質問まとめ
財政	14	今後、管路更新等が始まると財政的に苦しくなって料金を上げざるをえない状況か。 →今後は人口減少に伴う使用料収入の減少に加えて、老朽化施設の更新が必要となるため、財政的に厳しくなる見込みです。
	15	ストックマネジメントによるコスト縮減の主な要因は何か。 →調査を実施して状態がよければ延命化していきます。状態が悪かったとしても部分的な補修などによりコストを下げていくことを実施するものです。
	16	安易に借入れしないで税金から投資してもらおうとか、貯金しておいてなるべく市民の負担とならないようにしてほしい。 →この10年の計画において値上げの計画はありません。
	17	積極的な資本投資をして、将来に負担を先送りにしないようにしてほしい。 →将来に負荷をかけないためにもストックマネジメント計画に基づいて平準化して進めていきます。
	18	下水道ビジョンのコラム「下水道事業を家庭に例えると」のボーナス（一般会計繰入金）がなくなったらどうなるのか。下水道使用料は汚水処理に使用されていることがわかるように書いた方が分かりやすい。 →汚水は下水道使用料（基本給）で賄いますが、雨水は一般会計繰入金（ボーナス）で賄うことになっています。分かりやすく修正しました。
アンケート	20	下水道ビジョンP22～23のアンケートについて、各設問がわかりにくい。 →修正しました。
使用方法	21	下水道ビジョンのP49コラム「下水道に流してはいけないもの」に、洗車時の排水や洗濯水（屋外設置）がダメとあるが、どのようにすればいいのか。 →洗車も洗濯も、道路側溝に流れると、川や海に流れるのでダメということになります。
中水道	22	中水道設備を導入しているところはあるのか。 →下水処理場敷地内の散水やディーゼルエンジンの冷却水、市発注の工事用水や散水、環境処理センターの散水、谷崎潤一郎記念館の園庭の池の水、総合公園のトイレの洗浄水、南芦屋浜下水処理場のせせらぎ広場の水に利用しています。災害時には、南芦屋浜下水処理場及び総合公園の災害用マンホールトイレの洗浄水として利用可能です。
コロナ禍	23	コロナ禍における在宅勤務増加や店舗閉店の影響で給水量に変化は生じたのか。 →専用家事用の使用水量は増加し、それ以外の使用水量は減少しました。全体としては増加しました。